

ヨハン・沃尔夫ガング・ゲーテ大学 フランクフルト・アム・マイン(ドイツ)

Johann Wolfgang Goethe Universität Frankfurt am Main



ゲーテ大学はフランクフルト市民からの寄付金をもとに1914年にフランクフルト市に設立されました。1932年には、ドイツを代表する文豪であり、フランクフルト市の最も有名な市民でもあるヨハン・沃尔夫ガング・ゲーテ(1749-1832)に因んで、大学の名称がヨハン・沃尔夫ガング・ゲーテ大学 フランクフルト・アム・マインに改称されました。また、1967年には、ゲーテ大学は私立の大学からヘッセン州の州立大学に移管されました。

設立以来、ゲーテ大学はドイツ有数の総合大学であり、目下16の専門分野において、36,000人以上の学生が学んでいます。そのうち4,400人以上は外国人留学生です。大



学には、ボッケンハイム・キャンパス(大学本部、教育学・社会科学、心理学、スポーツ科学、数学、コンピューター・サイエンス)、ヴェストエント・キャンパス(法学、経済学・経営学、歴史学、哲学、神学、言語学、文化)、リートベルク・キャンパス(地球惑星科学・地理学、生化学、化学、薬学、物理学)、ニーダーラート・キャンパス(医学部、歯学部、大学病院)の4つのキャンパスがあります。6億ユーロが投じられる包括的な整備計画のもと、州政府の意向により、キャンパスの建物は2014年までにヨーロッパで「最も進んだ大学」に改築される予定です。

ゲーテ大学と大阪大学の大学間協定は、2010年9月に締結されました。締結以前から大学院文学研究科(哲学講座)の舟場保之准教授、核物理研究センターの谷畠勇夫教授、社会経済研究所のチャールズ・ユウジ・ホリオカ教授が相互訪問、共同研究などの形でゲーテ大学と交流していますが、今回の協定締結により、より広い分野での交流が期待されます。

(メインコンタクトパーソン・
チャールズ・ユウジ・ホリオカ社会経済研究所教授)

ウェブサイト：<http://www.uni-frankfurt.de/>

編集後記

師走を皆様いかがおすごしでしょうか。12月のはじめまであった小春日和も無くなり、本格的な冬の到来を感じます。忘年会等が多く催される時期ですが、くれぐれも飲みすぎにはご注意ください。

さて、大阪大学創立80周年プレYearも終わり、年が明

けるといよいよ80周年記念Yearの幕開けとなります。さまざまなイベント、シンポジウムのほか、改修中のイ号館が大阪大学会館として生まれ変わるなど、ますます注目が必要です。

(柿木)